

ふるさと再発見 鉄砲町編

水神祠すいじんし

武家屋敷売店敷地の北側に、向唐破風造の水神祠がありま
す。松倉重政が領内の三会村
にあった水神祠を城下に移し、
寛永元年（1624年）に完
成したものとされています。祭神
は水波能売大神で、飲料水や
醸造用水、灌漑用水の守護神
として信仰されてきました。
この水神祠で、目を引くの
は、正面の唐破風です。破風
とは、屋根の妻側の三角形部
分の造形のことです。そのう
ち、中央部が弓形で左右両端
が反り返った曲線状の破風を
唐破風と言います。

当初から向唐破風造の水神
祠であったかという点、納ま
りが悪い部分もあるので、そ
うとは言えません。明治7年
（1874年）の島原城廃城
の際、その用材で改築され、
現地に移されたということか
ら、島原城内にあった唐門（屋
根に唐破風をもつ門のこと）
を使って、建立された可能性
が考えられます。

○参考文献・島原市鉄砲町伝
統的建造物群保存対策調査
報告書』（島原市 平成21
年3月）



クローズアップ Close Up!

島原の子守唄を踊る会



「島原の子守唄」といえば、島原
市出身の故宮崎康平氏が作詞作曲
し、全国的に有名な子守唄ですが、
この唄に踊りがあることをご存知
でしょうか。

この踊りは、片町に伝えられて
おり、康平氏が近所の子どもを集
めて踊りを教えたのがきっかけだ
と言われています。「島原の子守唄
を踊る会」は、子守唄とともに地
域に残るこの踊りを楽しみ、後世
へと継承していこうと平成24年7
月に結成されました。現在、主
市内の小学生を対象に会員を募集
しています。

練習は毎月1回第4土曜日の10時
から1時間程度、森岳公民館で行わ
れています。踊りの練習は、当時の
生活の様子や歌詞の意味などを話し
ながら行われ、子どもだけでなく親
も交じって踊りを楽しみます。

この会は、11月に島原で行われた
「全国子守唄フェスティバル」に出
演し、大舞台も経験しています。全
国子守唄フェスティバルでは、風車
を手に着物姿で、歌にあわせて踊る
姿が、なんとも言えないもの悲しい
様子を表現し、子守唄の独特の世界
観を映し出していました。

踊りを指導している池田銀子さん
は「子どもは素直なのですぐに吸収
して上手になります。この踊りに興
味を持ってくれる人が一人でもいた
ら協力したいと思っていますので気
軽に参加してほしいですね。この踊
りを通して、唄の背景や踊りの基本
そして礼儀作法も学んでほしいと思
っています」と話してくれました。

次回の練習日は、1月26日。情操
豊かなわが子の成長を願って、また、
地域に残る宝を後世に伝えて行くた
めにも参加してみませんか。

この会に関する問い合わせは、文
化スポーツ振興グループ（☎54
74）へ。